

脈々 スピリッツ 高蔵 魂

(創立者 市邨芳樹のことば)

「己を以て人を量るな」

人に不満を抱き、人を批判している間は、さげす蔑む相手を越えていない。同等でもなく、及んでもいないから、反応は声高になり、感情的になる。

「あの時、あの人があゝしたのには、こういう訳があったのか、あゝせざるを得なかったのだ」と肯定できて、初めてその人が受け入れられるのである。

活眼を得る道のりは遠い。

人は独身時代は半人前、夫たり妻となれば七分五厘、父たり母たるに至りて一人前。

(「藪椿」6 - 5)